



洲藻白岳 すもしらたけ | 518m 長崎県



トイレがある登山者用駐車場より双耳峰の洲藻白岳を望む

洲藻白岳は長崎県対馬にある名山。グリーン色の原生林の上部には白い石英斑岩の双耳峰の山容が遠くからでも望むことが出来る。双耳峰の洲藻白岳には東岩峰と西岩峰があり、それぞれ雌岩と雄岩と呼ばれている。東岩峰には登ることが出来ず、西岩峰がここでいう事実上の洲藻白岳の山頂になる。

アクセス

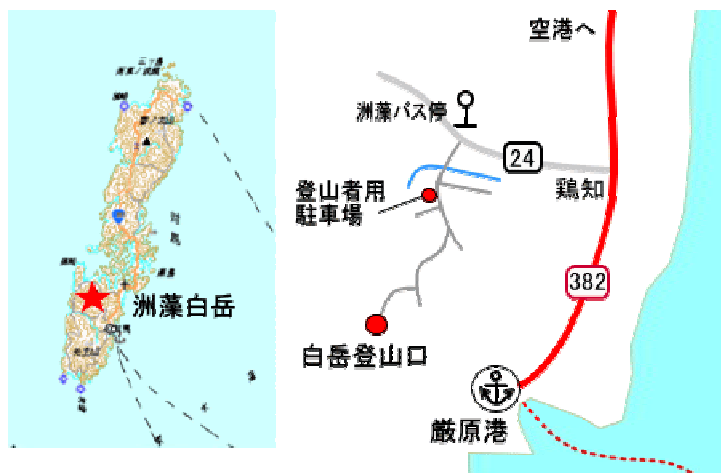
対馬・厳原港までは博多埠頭からフェリーや高速船が出ている。

厳原港からバスを乗り継ぎ登山口手前の洲藻バス停まで行くことも出来るが、バスの本数が少ないためレンタカーを利用した方が良い。

厳原より国道 382 号線を北上。鶏知より県道 24 号線に入り洲藻バス停付近より登山口の方へ道を上がり登山者用駐車場に着く。

ここからのスタートだとまだ遠いので更に 2km 以上先の林道終点の登山口に進む。

林道終点の登山口には数台車を駐車出来るスペースがある。

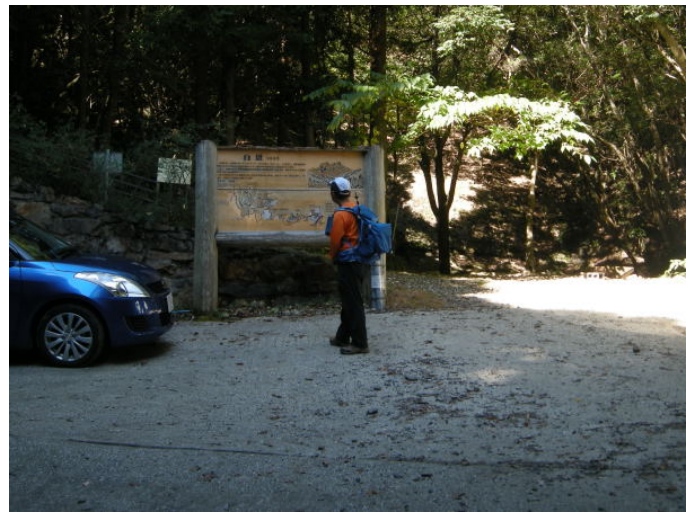




参考コースタイム 登山口～50分～鳥居～20分～小広場～15分～西岩峰～20分～岩テラス
 ～1時間～登山口 **参考歩行時間** 2時間45分



登山者用駐車場。ここから洲藻白岳が望める



林道終点にある登山口

登山口より直ぐ側の滝を右に見てまずは急坂を上がり、その後は沢沿いの道を上っていきます。地図では前岳を巻くように谷を上がっているようです。この辺は緩やかな道でほどなくして「白岳に見られる動植物」の案内板とベンチがある場所に出会う。案内板を過ぎると傾斜も増えてきてジグザグの道が上がっていく。道を左に向きを変え上がっていくと前方に大きな岩屋が見えてきた。この岩屋を左に見ながら傾斜がある道を上っていきます。



動植物の案内板とベンチ



岩屋

やがて道はフラット気味になり、赤い旗がよく目立つ鳥居のところに出会う。ここは分岐になっていて直進すると「上見坂」へと向かう。山頂へは鳥居を潜り、再び上りとなる。対馬は韓国から直接高速船が入港しており、韓国人観光客も多い。ここ洲藻白岳に登る韓国人も多く、登山道沿いにはハングル文字で書かれた案内板や注意書きも目立つ。登山道は急登が続く。地図を見ても等高線の間隔がこの辺は狭い。



鳥居がある分岐



ロープがある急登

ロープ箇所の急登が連続する。やがて山頂直下にある小広場上がる。ここには祠やケルンもある。この広場から岩場のロープ箇所を乗り越え、西岩峰—東岩峰間の鞍部に向かう。因みにこの広場を直進すると岩テラスにつく。岩場を越えて祠がある両岩峰間の鞍部に出会う。西岩峰は左へ、右側の東岩峰へは登れないが、東岩峰直下の神社鳥居へここから右へ行ける。



祠やケルンがある小広場



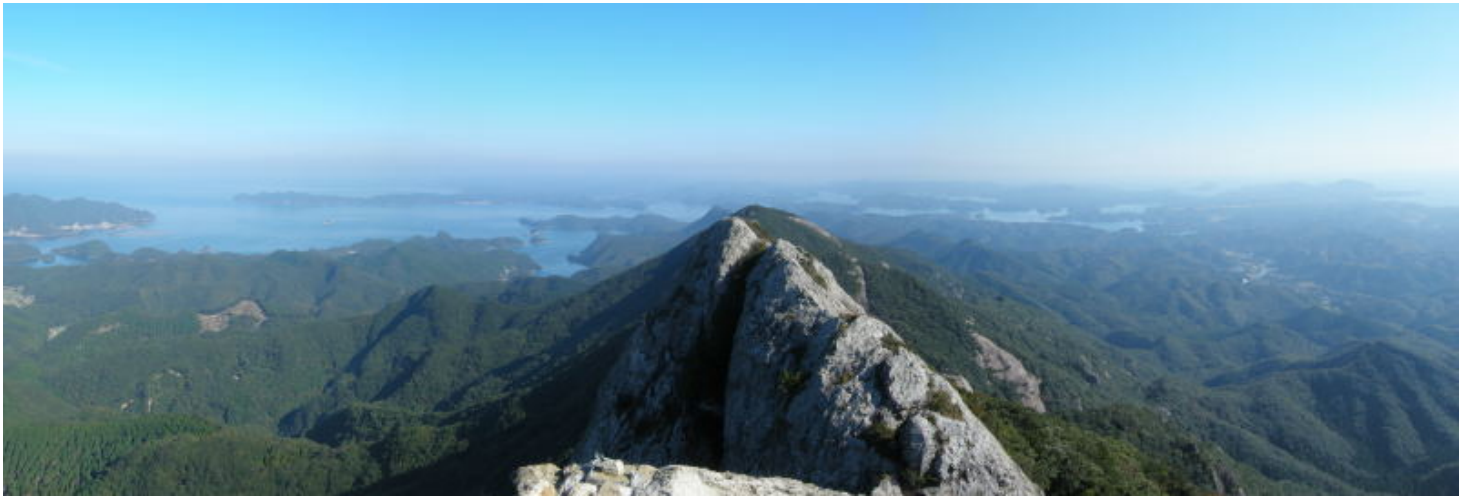
東西岩峰の間の鞍部

鞍部から西岩峰へガレ場、岩場を上がり直下の基部へ。西岩峰のてっぺんへは更に岩場をロープで上がり、狭い道を巻き、ラスト岩場をよじ登ると西岩峰に登頂する。

わずかタタミ3畳ほどの広さだろうか。岩峰のてっぺんからは何も遮るものなどない360度のパノラマ展望が望める。それは雄大でリアス式海岸の島々や対馬の山々が同時にスケール大きく望める。また直ぐ目の前には相方の東岩峰が「で〜ん」と構えて大きく見えます。もっと視界が良ければ遠く韓国まで見えるらしい。

ほんと素晴らしい展望です。

その後、岩峰から慎重に岩場を下り、鞍部から先にある東岩峰直下の神社へ。祠と鳥居、雌岩そのものがある。また小広場から先にある岩テラスにも寄ってみた。この広い岩テラスからの眺めも素晴らしいものがある。



西岩峰からのパノラマ展望

岩テラス（下）と東岩峰直下の神社と鳥居（右）

